

令和8年度かがわDX Lab研究項目募集要項

1 事業目的

香川県内を一つの生活圏として、デジタルによる地域課題の解決を通じたまちづくりに取り組む官民共創コミュニティ「かがわDX Lab」において、官民それぞれが持つ知見を活かし、フィールドワークによる課題の抽出・深掘りから、効果的な解決策の検討、実証実験等を通じて、地域課題の解決に向けたサービスの創出を目指します。

2 事業概要

地域課題の解決に資するサービスの創出を目的として、官民で構成するワーキンググループ(以下「WG」)を設置し、WGで取り組むための研究項目を募集します。

WGでの活動を通じて策定された計画のうち、社会実装につながる可能性があり、かつ社会実装に向けた事前検証が必要と認められるものについては、「かがわDX Lab実証研究事業費補助金交付要綱」に基づき、実証実施計画書を作成の上、実証経費に対する補助金を申請することが可能です。

3 募集内容

(1) 募集対象

本県を実証フィールドとし、地域課題の解決を通じて住民の生活の質の向上につながる研究項目

(2) 応募資格

「かがわDX Lab」におけるWG活動、実証実験等の活動を的確に遂行できる組織、人員体制を有する事業者等であること。

※提案が採択された際は、かがわDX Lab会員登録が必要です。(月額5,000円の会費が必要)

※「かがわDX Lab」の理念に共感し、行動憲章に則って活動していただく必要があります。

※「かがわDX Lab」会員になることで、「かがわDX Lab」活動拠点の利用が可能になります。

※共同体で応募することも可能ですが、共同体の代表者は事業の全体を総括し、責任を負う必要があります。

※事業者所在地は問いません。

※提案内容を自らが実施できない事業者、香川県が支援を行うことがふさわしくないと判断した事業者等は除きます。

(3) 応募要件

- ・ 行政の予算に依存せず、民間事業者自身が収益化を含めた持続可能なビジネスモデルを構築し、地域課題の解決に資するサービスの社会実装を目指す意向があること。
- ・ 既存商品の販売にとどまらず、共創を通じて新たな価値創出に挑戦する意向があること。

4 応募から審査までの流れ

(1) 応募

提案を希望される方は、事業提案書(様式1)をかがわ電子自治体システムにより提出してください。

【提出先】

https://apply.e-tumo.jp/pref-kagawa-u/offer/offerList_detail?tempSeq=13160

【受付期間】

令和8年4月27日(月)から令和8年6月26日(金)17時



(2) 審査

別添「かがわDX Lab研究項目選定にかかる審査要領」に基づき審査を行います。なお、審査を行うにあたり、事務局より個別に内容の確認を行う場合があります。

① 審査方法

(ア) 一次審査(書類審査)

一次審査は書類のみで行います。

(イ) 二次審査(プレゼン)

一次審査(書類審査)を通過した提案について、プレゼンテーションによる説明を行っていただきます。(日時や場所等は、一次審査通過者に通知、オンラインも可)

なお、本審査は、後述するワーキンググループ(以下「WG」という。)の設置検討を目的として、原則として「かがわDX Lab会員」に対して公開の形式で実施します。あらかじめご了承ください。

② 審査基準(一次審査、二次審査同様)

「適合性」、「革新性」、「安全性」、「実現可能性」、「発展性」について審査を行います。

※詳細は、別添「かがわDX Lab研究項目選定にかかる審査要領」をご参照ください。

③ 審査結果の通知

審査結果は、二次審査(プレゼン)による選定に参加した提案者全員に通知します。

(3) 質問の受付及び回答

質問がある場合は、かがわDX Labのホームページのお問い合わせフォーム(URL:
<https://kagawadxlab.pref.kagawa.lg.jp/inquiry>)から送信してください。件名は「かがわDX Lab実証研究項目募集要項の質問について」とし、回答は順次、かがわDX Labのホームページ(URL:<https://kagawadxlab.pref.kagawa.lg.jp/>)に掲載します

(4) 説明会

【開催日】

令和8年5月14日(木) 15:00~15:45

【開催形式】

かがわDX Lab カンファレンスルーム

高松市サンポート2-1高松シンボルタワー タワー棟3階

※オンライン(Webex)での参加も可能です。

【申込締切】

令和8年5月12日(火) 17時



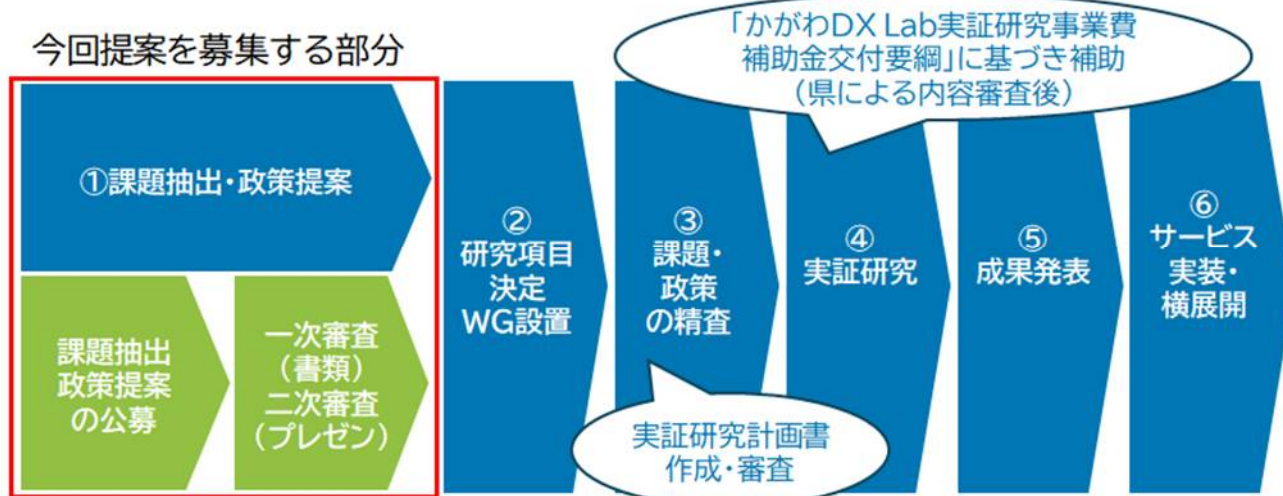
【申込先】

https://apply.e-tumo.jp/pref-kagawa-u/offer/offerList_detail?tempSeq=13161

(5) スケジュール

募集要項公開	令和8年4月27日(月)
説明会申込期間	令和8年4月27日(月)～令和8年5月12日(火)
質問の受付期間	令和8年4月27日(月)～令和8年6月19日(金)
説明会	令和8年5月14日(木)
質問の回答	順次、かがわDX Labホームページに掲載します
提案書の受付期間	令和8年4月27日(月)～令和8年6月26日(金)
一次審査(書類審査)	令和8年7月上旬頃
二次審査(プレゼン)	令和8年7月中旬頃
審査結果通知	令和8年7月下旬頃

※ 上記のスケジュールは応募件数等により変更する可能性があります



5 費用支援

WGでの活動を通じて策定された計画のうち、社会実装につながる可能性があり、かつ社会実装に向けた事前検証が必要と認められるものについては、「かがわDX Lab実証研究事業費補助金交付要綱」に基づき、実証実施計画書を作成の上、実証経費に対する補助金を申請することが可能です。

- ・ 補助上限1,000万円

(ただし、補助対象経費が1,000万円未満の場合は補助対象経費の額とする)

※補助対象経費については、かがわDX Lab実証研究事業費補助金交付要綱をご確認ください。

(留意事項)

研究項目決定と補助金申請は必ずしも同一年度である必要はありませんが、研究項目の決定がすなわち補助金交付決定につながるとは限りません。また、補助金募集要領については、年度ごとに改定される可能性がある点についてご留意ください。

6 留意事項

以下の事項を全て承諾した上でご応募ください。

(1)失格事由

以下に該当する場合、審査対象外とさせていただきます。

- ・ 応募内容に不備がある場合
- ・ 応募者が、応募に際し虚偽の情報を記載し、そのほか主催者に対して虚偽の申告を行った場合
- ・ 社会通念上好ましくない提案など、支援することが適さないと判断した場合

(2)費用負担と書類の取扱い

- ・ 応募に当たって必要な書類(提案書を含む。)は、応募者の負担で作成してください。
- ・ 提出された書類は返却しません。また、提出締切り後の差換え、再提出は認めません。
- ・ 応募にあたってご提供いただく個人情報を含む応募情報は、県において本事業に必要な範囲で利用・共有されます。また、応募情報を事前の承認なく、県以外の第三者に提供することはありません。
- ・ 応募により生じる損害については、県は一切の責任を負いません。

(3)知的財産権

- ・ 応募内容の知的財産権は応募者に帰属します。
- ・ 応募者が必要と判断される場合は、自身の責任で権利処理などの手続きを行うこととします。
- ・ 知的財産権に関して発生した問題については、県は一切の責任を負いません。

(4)採択後

- ・ 提案が採択された際は、かがわDX Lab会員登録を行ってください。月額5,000円の会費が必要です。また、「かがわDX Lab」の理念に共感し、行動憲章に則って活動していただく必要があります。会員になることで、「かがわDX Lab」活動拠点の利用が可能になり、また各研究項目のWGへ参画する機会が得られます。
- ・ 研究項目として採択された案件については、社会実装に向けた検討を行うため、かがわDX Lab会員で構成されるWGを設置します。採択後、かがわDX Lab事務局より全会員に対し、当該研究項目のWGへの参画希望を募ります。
- ・ 研究項目提案者がWG幹事団体となり、WG参加者間、事務局(香川県)との総合調整を行ってください。

(4)その他

- ・ 県が支援する費用以外は、応募者における費用負担となります。
- ・ 採択後は、原則公開の場で事業進捗状況等の成果報告会を開催します。
- ・ 本事業では広報を目的として、実証研究の過程等の撮影を行います。また県や「かがわDX Lab」のホームページ等で紹介させていただく場合があります。
- ・ 事業終了後、サービスの提供状況等について県からヒアリングを実施する場合があります。
- ・ 実証研究等で得られたデータ等については、官民データとしての活用に御協力をお願いすることがあります。
- ・ 本事業への参加が不適切であると県が判断した場合には、途中で辞退いただく場合があります。

7 応募・照会先

〒760-8570 香川県高松市番町四丁目1番10号

香川県政策部デジタル戦略総室デジタル戦略課 担当者:小島、杉原

TEL:(087)832-3140 電子メール:digital@pref.kagawa.lg.jp

8 参考

これまでの活動内容等については、かがわDX Labホームページをご確認ください。

https://kagawadxlab.pref.kagawa.lg.jp/working_group/



【参考】「かがわDX Lab」基本理念・行動憲章

●基本理念

人が輝く かがわのあしたを デザインする

～オープンにフラットにつながる、ここからみんなで挑戦する～

●行動憲章

(オープン)私たちは、かがわDX Labで語り合った過程や結果を、可能な限りオープンにします。

(フラット)私たちは、顔の見える関係を大切にしつつ、互いに本音で語り合います。

(コネクト)私たちは、官民の垣根を越えて、人もデータもつながり、真にコンパクトな地域を目指します。

(トラスト)私たちは、デジタル技術の活用のみを目的とせず、住民の信頼のもと、真に必要なものを考え続けます。

(アクション)私たちは、10年、20年後のかがわの未来を見据え、変わることを恐れず、今から行動します。

(デザイン)私たちは、かがわが持っているポテンシャルと、デジタルをかけあわせて新しい価値をデザインします。

(チャレンジ)私たちは、現状にとらわれることなく、失敗を恐れず、挑戦し続けます。

(Well-being)私たちは、かがわを一つの生活圏としてとらえ、住民起点の誰一人取り残されない社会を実現します。